

令和6年3月12日

No. 222

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

理数アカデミー 合同修了式 3月10日(日)



理数アカデミーでは、東京大学「ジュニアドクター育成塾」と連携し、理科や算数・数学に高い関心をもつ児童・生徒に、実験や演習を中心とした「手作りの授業」を行ってきました。参加者が年々増えて、今年は94名（延べ参加者135名）。オンラインで沖縄県からの参加もあり、対面とオンラインで参加の全国の仲間とともに、授業や自由研究が進められてきました。企業や大学、研究機関の見学もあり、受講生にとって貴重な体験になったのではないかと思います。

修了式にあたり、折笠教育長からは次のようなメッセージをいただきました。

- この理数アカデミーで学んだことを友達に伝えてほしい。科学に興味・関心をもつ仲間を増やしてほしい。
- 理数アカデミーで学んだことをもとに、科学の面白さを探求してほしい。自分の得意な分野を伸ばし、将来の夢に向かって希望をもち、輝いた人生となることを願っている。
- 将来、皆さんの中から理数アカデミーの講師となって戻ってきてくれる人がいるとうれしい。

日立理科クラブの瀧澤代表からは、「今日で修了ではあるが、一つの区切りであり、皆さんの問題意識をさらに深めて先に進むための一里塚にしてほしい。ここで学んだことを土台に前に進んでほしい。ここで知り合った仲間を大切にしてほしい」とのメッセージをいただきました。

受講生代表あいさつは、県立高校附属中学のUさんです。Uさんは、全国から選抜された仲間とともに、最先端技術に触れたり、ノーベル賞受賞者の講義を受けたりする、4泊5日の特別プログラムに参加した生徒です。

理科や数学の難しい内容を面白くわかりやすく講義していただき、楽しく学ぶことができました。自由研究コースでは、丁寧に教えていただき研究の方法や実験の進め方など細かいところまで理解できた。日立製作所の工場や研究所、茨城大学やJAXAなど、現地で直接見たり聞いたりできる貴重な体験ができました。また、理数アカデミーで出会った友達と一緒に学べたこともよい思い出となっている。

これからも、理数アカデミーで学んだ科学の面白さを忘れずに、勉強や研究に取り組んでいきたい。



各コースの代表講師から、一年間の活動について報告があり、それぞれの受講生の代表に修了証が授与されました。

皆さん、一年間の取り組み、ご苦労様でした。

受講生の皆さんの、理数アカデミーでの学びが確かな力となり、皆さんの成長の糧となることを願っています。また小学6年、中学1年の受講生には次年度も参加されることを期待しています。

